

いたばし魅力ある学校づくりプランの進捗状況について

いたばし魅力ある学校づくりプランにおける前期計画第2期・第3期の各グループの進捗状況について報告する。

1 前期計画第2期・第3期対象校（学校名・グループ）

期	学校名	グループ	学校名	グループ
第2期	上板橋第一中学校	D グループ	志村小学校	E グループ
	上板橋第三中学校			
第3期	向原小学校	F グループ	板橋第一中学校 板橋第五中学校	G グループ

2 【第2期】各グループの進捗状況

(1) Dグループ（上板橋第一中学校・上板橋第三中学校）

当該校のPTA役員会、iCS推進委員会、関係支部町会長会議などで、対応方針について説明・意見交換を行った。

① 対応方針（令和元年6月公表）

- 生徒数の増加が予測されており、両校を統合した場合は、学校規模が過大になる。
- 上板橋第三中学校は、校地面積が区内中学校で最も小さく、改築の際には自主管理歩道設置による校地面積の減少（セットバック）など制約となる課題が多い。
- このため、上板橋第一中学校は改築、上板橋第三中学校は維持改修の方向で検討していく。

② 今後の予定

iCS推進委員会・関係支部町会長会議・周辺小学校などで、今後のスケジュール等について説明を行う。

【上板橋第一中学校】…改築

- 校舎改築の基本構想・基本計画の策定作業を進める。

【上板橋第三中学校】…維持改修

- 令和2年度から、外壁・屋上改修等工事を実施する。

(2) Eグループ（志村小学校）

当該校の PTA 役員会、iCS 推進委員会、関係支部町会長会議などで、対応方針について説明・意見交換を行い、志村小学校単独での協議会を設置することとなった。

① 対応方針（令和元年6月公表）

- 児童数の将来推計が微増・横ばいの予測であり、志村小学校と近隣校（北前野小学校）を統合した場合は、学校規模が過大になる。
- 志村小学校は、校地面積が小さく、校地の多くを擁壁に囲われている。
- 改築の際には、工事期間が6年間にも及んでしまい、学校運営や安全確保など制約となる課題が多い。
- このため、工事手法もしくは学校グループ編成手法等について、総合的に検討していく。

② 協議会委員

魅力ある学校づくり協議会（志村小）	
1	志村小学校 PTA 会長（志村小 iCS 推進委員）
2	志村小学校 PTA 役員相談役
3	志村小学校 PTA 役員相談役
4	志村町会会長
5	志村城山町会会長（志村小 iCS 推進委員）
6	志村五桜町会副会長
7	志村親和町会会長
8	志村銀座商店街振興組合代表理事（志村小 iCS 推進委員）
9	志村小学校元 PTA 会長（志村小 iCS 推進委員）
10	城山幼稚園園長（志村小 iCS 推進委員）
11	志村小学校校長
12	教育委員会事務局次長

③ 協議会の開催

回	開催月日	内容
準備 協議会	令和元年 11月18日	・会の名称、会則、運営について ・会長の選出
第1回	令和元年 11月18日	・「いたばし魅力ある学校づくりプラン～前期計画第2期 対象校対応方針について～」の概要説明 ・志村小と近隣小学校の現状について ・志村小の施設状況について ・志村小の改築方法について
第2回	令和元年 12月16日	・小中一貫教育について ・板橋区の小中一貫教育（学びのエリア教育）について ・小中一貫教育校の分類について ・志村第四中学校の現況について

④ 今後の予定

- 第3回協議会を令和2年1月27日開催予定。今後、意見書の提出に向けて協議を進める。

3 【第3期】各グループの進捗状況

(1) Gグループ（板橋第一中学校・板橋第五中学校）

当該校の関係支部町会長会議（※）などで、対応方針について説明・意見交換を行った。

（※）エリアマネジメントの説明（政策企画課）と合同

① 対応方針（令和元年6月公表）

- 両校の通学区域内では、板橋駅西口周辺地区のまちづくり、大山駅周辺地区のまちづくりの計画や、公共施設再整備の検討などが行われている。
- このため、それぞれの事業の進捗状況や最新の生徒数推計等を考慮しながら、工事手法や工事期間、もしくは学校グループ編成手法等について、総合的に検討していく。

② 今後の予定

引き続き、当該校のPTA 役員会、iCS 推進委員会、関係支部町会長会議などで、対応方針について説明・意見交換を行い、協議会の設置に向けて準備を進める。

(2) Fグループ（向原小学校）

① 対応方針（令和元年6月公表）

- 児童数の将来推計を考慮しながら、学校施設整備を機に良好な教育環境の確保に向けて検討する。
- 向原小学校から通学区域外への入学は主に上板橋第二小学校、大谷口小学校、板橋第十小学校である。
- 大谷口小学校と板橋第十小学校は改築（予定）実施校のため、グループ編成対象外であるが、学校間の通学区域内児童数を平準化するため、通学区域の調整については検討していく。
- 上板橋第二小学校については、昭和42年に建設され、近い将来施設面での対応が必要になるため、向原小学校と上板橋第二小学校とを「学校グループF」として学校整備を検討していく。

② 今後の予定

当該校のPTA 役員会、iCS 推進委員会、関係支部町会長会議などで、対応方針について説明・意見交換を行い、協議会の設置に向けて準備を進める。